

平成26年度 決算報告

— Ora Town 2014 fiscal year
statement of accounts —

平成27年9月議会で認定された平成26年度の町の決算をお知らせします。一般会計の歳入総額は93億4,234万円、歳出総額は89億2,241万円です。それぞれ前年度比は、歳入10.0%の増、歳出14.0%の増という結果でした。各会計の主な決算額は、次のとおりです。

問合せ▶役場総務課 ☎47-5004



その他会計 特別会計・企業会計の決算状況は？

町の会計には一般会計のほかに特別会計と企業会計があります。一般会計は基本・全体的な経費を管理する会計。その他会計は特定の事業のために独立して歳入・歳出を管理する会計です。各会計とも、健全な運営がされていることが分かりました。

会計名	歳入総額	一般会計からの繰入額		歳出総額
		繰入額	繰出額	
国民健康保険特別会計	33億4,172万円	2億1,942万円	2億1,942万円	32億4,956万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,113万円	5,519万円	5,519万円	2億1,954万円
介護保険特別会計	17億6,493万円	2億6,337万円	2億6,337万円	17億1,619万円
下水道事業特別会計	3億2,017万円	1億6,589万円	1億6,589万円	2億9,557万円
学校給食事業特別会計	2億4,476万円	1億7,487万円	1億7,487万円	2億4,047万円
水道事業会計	5億3,021万円	0円	0円	5億728万円

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	—	14.69%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	—	19.69%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対しての借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	5.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	—	350.0%	

※赤字が生じない場合は「—」で表示しています。

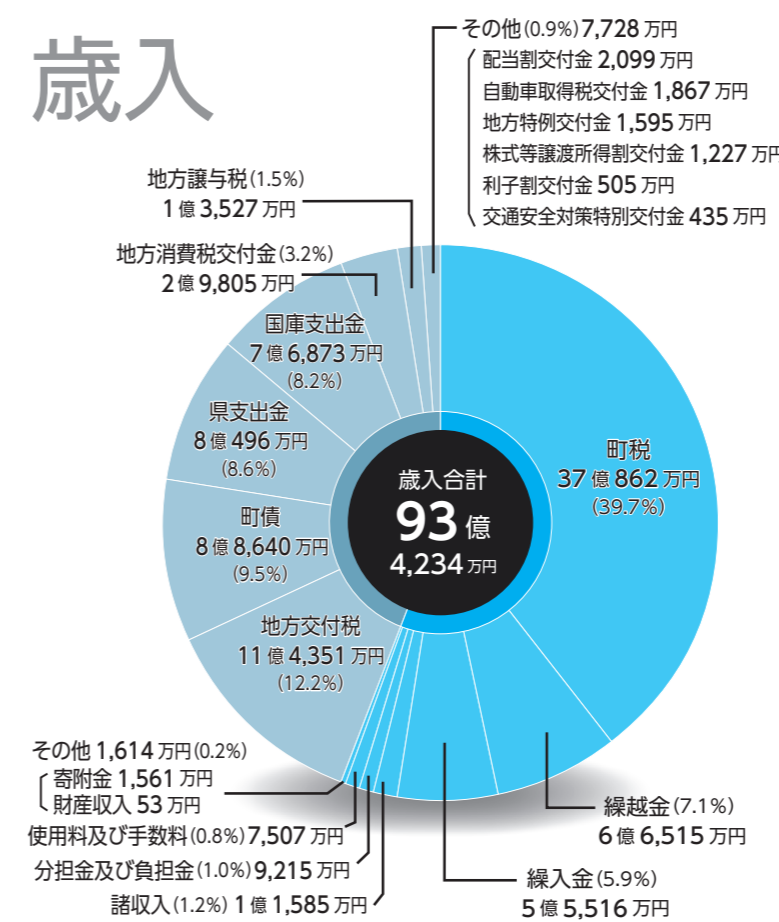
資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
資金不足比率 公営企業会計（水道事業など）の営業収益における資金の不足額の割合	—	20.0%	水道事業会計と下水道事業特別会計での算定

まちの財政運営の健全度は？

町が健全な財政運営かどうか、国が定めた5つの指標で確認できます。どの項目も算定されないもしくは非常に低い数値という結果で、町の財政運営は健全であることが確認できました。



歳入



自主財源 55.9%
52億 2,814万円

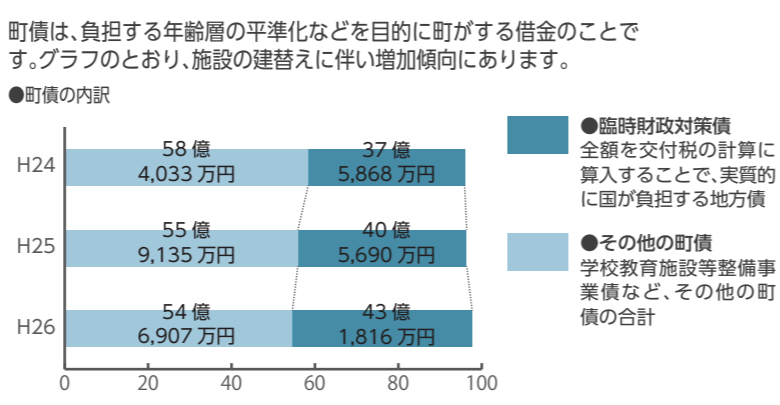
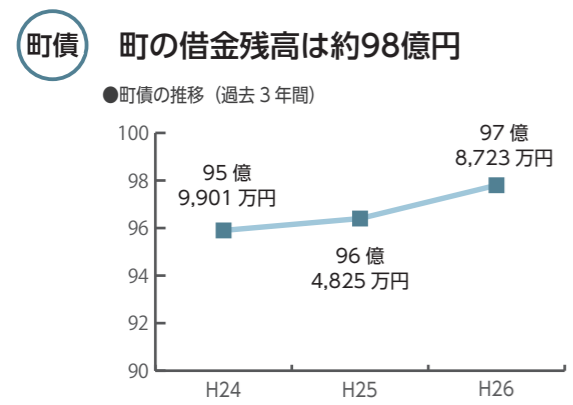
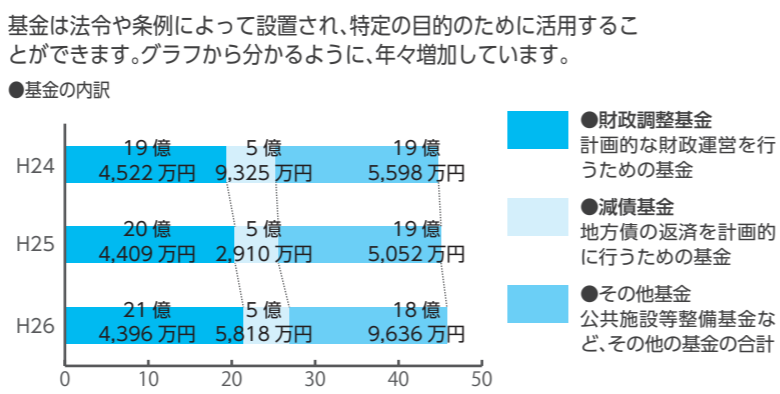
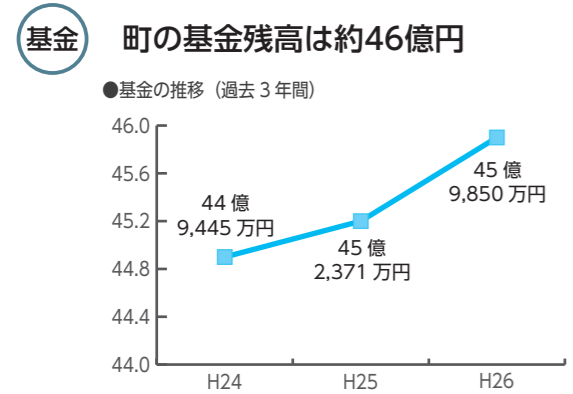
自主財源とは・・・
まちが自ら確保することができるお金

依存財源 44.1%
41億 1,420万円

依存財源とは・・・
国や県などから割り当てられたり交付されたりするお金

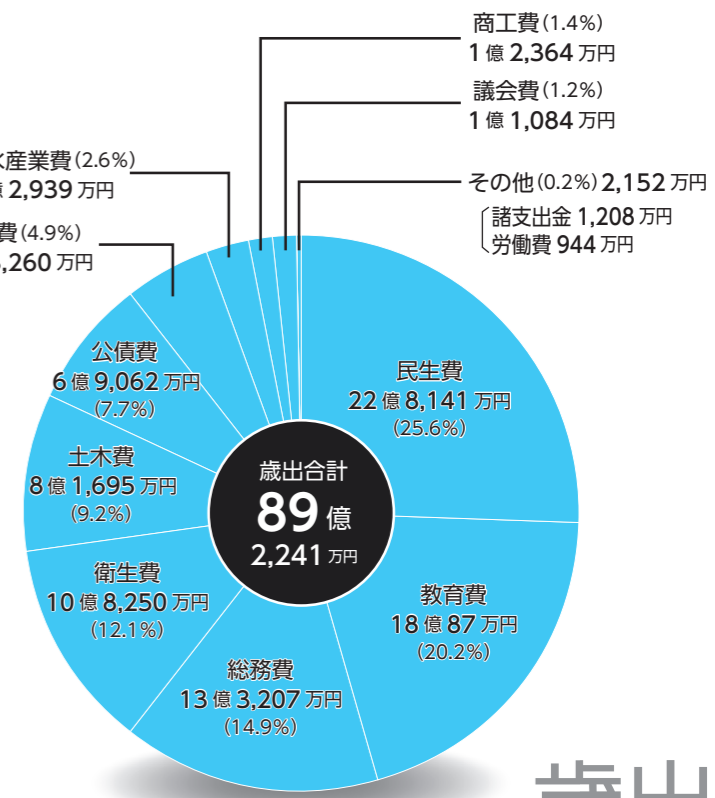
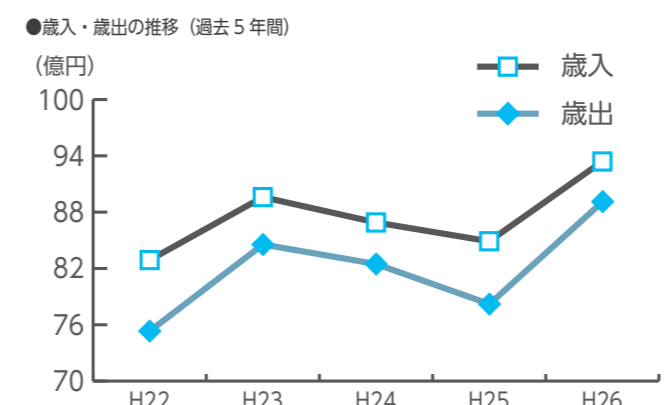
一般会計 歳入・歳出

歳入・歳出の差引額は
4億 1,993万円



教育施設の充実を図りました

歳入は、自主財源の根幹となる町税が前年より1.8%増加しました。また、依存財源の確保に努めた結果、県支出金が前年度比2億1,582万円の増となりました。総額については、歳入・歳出ともに減少傾向でしたが、平成26年度は増加しました。主な要因は、老朽化した教育施設の改築です。また、消費税の増税に伴い臨時給付金を支給し、子育て・低所得世帯の支援を行いました。今後も財源確保と経費削減に努め、健全な財政運営を図ります。



歳出

平成26年度の主な事業

- 3億 8,425万円 高島幼稚園改築事業**
県産木材を利用した、木のぬくもりある園舎です
- 1億 6,382万円 長柄小プール改築事業**
6コースある25mプールです。7月には町水泳記録会も開催されました
- 275万円 防災車購入費**
災害に強いまちづくりを目指し、災害発生時に使用する防災車を備えました